

令和3年度  
広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（Ⅱ型）  
教育学部

第五類（人間形成基礎系） 教育学系コース

小論文問題

実施期日 : 令和2年11月19日（木）  
試験時間 : 9時30分 ~ 12時00分（2時間30分）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙を含めて5枚、解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚です。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答は解答用紙の指定の場所に記入してください。
5. 解答用紙は室外へ持ち出してはいませんが、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
6. 机上には、本学受験票、配付した問題冊子等、黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、定規、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）のほかは置くことができません。

令和3年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（Ⅱ型）  
教育学部  
第五類（人間形成基礎系） 教育学系コース  
小論文問題

---

問題 「一 可能性としての人間」と「二 きびゅう 帰謬法と<sup>きしん</sup> 帰真法」という二つの文章を読み、後の設問に答えなさい。

一 可能性としての人間

著作権保護の観点から、公開していません。

令和3年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（Ⅱ型）  
教育学部  
第五類（人間形成基礎系） 教育学系コース  
小論文問題

---

著作権保護の観点から、公開していません。

（出典：佐伯胖『「学び」の構造』東洋館出版社，1975年，170-173頁。なお出題にあたり，表記等を一部変更している。）

令和3年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（Ⅱ型）  
教育学部  
第五類（人間形成基礎系） 教育学系コース  
小論文問題

---

二 帰謬法と帰真法

**著作権保護の観点から、公開していません。**

（出典：鶴見俊輔『教育再定義への試み』岩波書店，1999年，43-44頁。なお出題にあたり，表記等を一部変更している。）

令和3年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（Ⅱ型）  
教育学部  
第五類（人間形成基礎系） 教育学系コース  
小論文問題

---

【設問1】 下線部①の「ちがい」とは何か、筆者の論旨に即して200字以内で説明しなさい。

【設問2】 「二 帰謬法と帰真法」の筆者である鶴見俊輔は、「帰謬法」を「  
著作権保護の観点から、公開していません。

」（鶴見1999, 189頁）

思考法であると説明し、「帰真法」を「

著作権保護の観点から、公開していません。

」（同上）として

説明している。

このことをふまえて、「二 帰謬法と帰真法」に描かれている先生は手をあげなかった子を、「一 可能性としての人間」で説明されている教育的視点で捉えているといえるかどうか、あなたの考えを300字以内で述べなさい。

【設問3】 二つの文章をうけて、教育的視点はどのようなものであるべきだとあなたは考えますか。具体的な例を挙げつつ、1,000字以内で論じなさい。